

安保破棄ニュース

No. 490
2018.2.16

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三三三三
FAX 〇六一六七六三三三三
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

さらに強く 沖縄と連帯を！

名護市長選挙結果を受けて



4日投開票された名護市長選挙は、稲嶺市長の三選を目指して全国から支援者が駆け付けました。大阪からは、大阪安保に登録していただいた方63名の他にも様々な団体・労組・個人として19名の方が現地に入り、延べにすると、約450名が活動しました。（この他にも、独自に組織された民医連・新婦人・民商から多くの方が活動に参加されました。）

残念なことに、移設推進派が当選しましたが、このことによつて、名護の市民が新基地建设を容認したということでは断じてありません。

それは、相手候補が、辺野古新基地建设の是非については、「県と国との裁判の行方を見守る」と明言を避け、争点隠しを行ったという事実、地元の琉球新報社が、期日前投票が始まった1月29日から投票日の2月4日まで行った出口調査においても、普天間基地の辺野古移設については61・7%の市民が反対（反対46・5%、どちらかと言えば反対15・2%）と答えていること、そして、沖縄統一連に結集し、全国から名護に駆けつけた人々の誰もが、市民との対話の中で、大多数の市民から「基地建设反対」の直の「民意」を聴いていることから明らかです。

ではなぜ、今回の選挙で稲嶺三選を勝ち取れなかったのか、なぜ、本当の「民意」とは異なる結果となったのかという点について見ておかなければなりません。

そのための指標の一つが前回の出口調査に現れています。それは、普天間基地の辺野古移設に反対と答えた人のうち、前回2014年の市長選挙時には9割の人が稲嶺氏に投票していたのに、今回は76%に止まり、23・9%が相手候

補に投票したという点です。

安倍政権は昨年4月、一方的に法解釈を変更して無法な護岸工事に着手。

11月にはさらに事前協議もすることなく、石材の海上搬送を始め、今年に入ってから、5本目の護岸工事にも着手。実際には、大浦湾に生息するサンゴなど希少な生物の存在、埋め立て予定地に流れ込む美謝川の水路変更に関わる名護市長の権限などが立ふさがり、これ以上工事を前に進めることが出来ず、護岸工事のわずか4%、全体の工事計画からすれば、1%にも満たない進捗率であるにもかかわらず、あたかも、どんどん工事が進み、「反対しても工事は止められない」と市民を諦めさせるためのアピールを繰り返し、「工事が止まらないなら、経済を良くしてほしい」と市民に考えさせたのです。

合わせて、「再編交付金を受け取らなかったために、135億円の財政赤字を生み、市民税も高くなっている」などというデマ宣伝を行い、稲嶺市長が「基地建设反対ばかり言っている」というイメージを市民に植え付けました。

その上で、「市政刷新と経済振興」を前面に掲げて選挙戦略を組み立て、自民党は国政選挙並みの態勢で臨み、菅官房長官や二階幹事長はじめ、幹部を次々に名護入りさせました。さらには公明党が、今回は「海兵隊の県外・国外移転を求める」というまやかしの協定を結んで推薦に回り、安倍政権の補完勢力である維新も推薦。

100人以上の国会議員を送り込み、「国と対立ばかりでは前に進まない」と経済界や様々な団体を固め、丸抱えで相手候補にテコ入れして選挙が行われました。

これによつて、期日前投票者数が初めて当日の投票者数を上回る2万1660人（44・4%）となり、選挙戦に大きく影響を与えることになったと思われまます。

しかし一方、今回の選挙で、有権者の3割いる「支持政党なし」の人の62・4%が稲嶺氏に投票しているという点は、今後の闘いに大いに参考となり、確信につながれると考えます。

「100機のオスプレイと、3200名の海兵隊員が常駐する、耐容年数100年と言われる基地ができたらどうなるのか。大事なことを見落とさないで」と、今から、粘り強く市民と対話し、人間としての尊厳と、平和に生きる権利を踏まえて、改めて憲法がくらしに活きる名護市・沖縄県の未来を見据えて、決して諦めず、「オール沖縄」をさらに強化・発展させていくならば、秋の沖縄県知事選挙に勝利し、必ずや辺野古新基地建设を止めることは出来ます。

私たちも、大阪において、3000万署名などを積極的に取り組みながら、「戦争する国」づくり「改憲」を進めようとする動きを断じて許さず、引き続き沖縄の皆さんと共に闘いましょう。

9条改憲NO!

全国統一 3000 万署名を成功させよう!

安倍首相の国会答弁などに「とにかく憲法を変えたい」という安倍首相の思いが露骨に表れてきています。「憲法9条の2項を残して自衛隊を憲法に明記する」「憲法に自衛隊を明記しても自衛隊の活動範囲に変化はない」という安倍首相の論は、どのような手法を取ったところで矛盾を抱えます。自民党憲法改正推進本部での議論でも收拾がつかず、改憲勢力である希望の党からも批判の声があがるほどです。そもそも、何も変わらないのなら憲法をわざわざ変える必要はありません。昨年7月に衆議院憲法審査会

が行った「衆議院欧州各国憲法及び国民投票制度調査」でも、各国の議員から「理解できない。60年も現行憲法の解釈でやってきたのだから、そのままのことを認めるだけの憲法改正など、わざわざ行う必要はない」(イギリス労働党ベン議員)という声が出るように、安倍首相の主張は、国際的に見てもまったく理解されない愚行でしかありません。

この間、沖縄では米軍ヘリやオスプレイの部品落下や、墜落・不時着などが多発しています。今月5日には佐賀県で自衛隊ヘリ墜落事故がありました。この事故のわずか三日後に事故現場付近上空を自衛隊ヘリが飛行するという、市民感情を全く理解しない行いもされています。

アメリカが核戦略強化を打ち出した「核態勢の見直し」(NPR)に対して日本政府は「抑止力を強化するもの」と歓迎する意向を示しました。唯一の戦争被爆国の政府として許されないことです。

国際的に北朝鮮を対話の席に着かせようとする努力がなされ、ア

23 宣伝行動

厳しい寒さの中、1月24日に「大阪安保23定例宣伝行動」を行いました。23日に他の大きな行動が入っていたため、一日ずらしての実施でした。

自治労連、うたごえ協議会、新婦人、大阪労連、憲法会議から弁士を出してもらい、いつもは、宣伝カーに普天間基地の航空写真の垂れ幕をつけているのですが、今回は、辺野古・大浦湾の垂れ幕をつけての宣伝行動でした。

弁士それぞれ、各団体の分野の話とともに、沖縄の問題、名護市長選挙のことにも触れて、力強くうたえました。名護市長選挙支援に行ったこと、憲法の視点から、地方自治の視点からなど、沖縄の問題や名護市長選挙が、現地だけの問題ではなく、全国の問題、大阪の問題であることを示しました。

「安倍9条改憲NO! 憲法生かす全国統一署名」(3000万署名)と「ヒバクシャ国際署名」も集めました。

かなり寒い中ではあり、道行く人も肩をすぼめて歩いている人が多かったですが、弁士や垂れ幕の方を見ていく人も多く、ビラも比較的多く受け取ってもらえ、手袋を外して署名を書いてくれる人もいました。

次回の23宣伝行動は、23日に他の大きな行動が重なっていることもあり、22日に変更して行います。



アメリカでさえ北朝鮮との対話の道を閉ざしていないにもかかわらず、「憲法を変えるためには北朝鮮との対話は邪魔」と言わんばかりの安倍政権の態度は異常としか言いようがありません。不戦の誓いである日本国憲法9条を何が何でも守り、「戦争する国」への変貌を押しとどめるために、市民一人一人の声を結集することが求められています。様々な課題がある中ですが、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会としては、常任幹事会での議論を経て、今は、「全国統一3000万署名」に力を集中して取り組もうということが確認されました。

当面の予定

2月

- 17日(土)大阪革新懇総会(13:30~グリーン会館2階)
民協主催「権利討論集会」(10:00~エルおおさか)
- 18日(日)大阪多喜二祭(13:30~クレオ大阪東)
- 19日(月)平和友好大阪連絡会 3000万署名統一行動
(12:00~空堀商店街)
- 22日(木)大阪安保23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 24日(水)大阪 AALA「ラテンアメリカ3大使が語るシンポジウム」
(14:00~阿倍野区民センター)
大阪平和委員会・憲法会議「憲法を武器として」上映会
(13:00~大阪府社会福祉会館4階)

3月

- 7日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 10日(土)原発ゼロの会・大阪「3・10 おおさか大集会 2018」
(第1部 9:30~ 第2部 13:30~ エルおおさか)
- 11日(日)大阪安保・2018年「総会」(幹事会)
(13:30~大阪社会福祉指導センター4階)

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

2018年「総会」(幹事会)

日時: 2018年3月11日(日)
13:00 受付開始、13:30 開会
場所: 大阪社会福祉指導センター 4階・第1研修室
2017年の活動を振り返り総括し、2018年の活動をどのように方向づけ作っていくかを議論し決定する大切な総会です。
各団体からのご出席、個人幹事の方々のご出席よろしく
お願いします。
総会内で学習会を行う予定をしています。講師、内容は
ただいま調整中です。